

第 228 回役員会議事録

I 日 時 令和 2 年 12 月 24 日 (木) 10 : 00 ~ 10 : 45 (オンライン会議)

II 出席者 永田学長、清水理事、木越理事、金保理事、ベントン理事、勝野理事、稲垣理事、
原理事、浅島理事

III 議 題

〔審 議〕

1 職員宿舍敷地の譲渡について _____ [審議 1 資料]

〔報 告〕

1 重要財産の譲渡について _____ [報告 1 資料]

2 令和元事業年度財務指標分析表について _____ [報告 2 席上配付資料]

3 筑波大学統合報告書 2020 の公表について _____ [報告 3 資料]

4 令和 2 年度余裕金の運用実績等について (第 2 四半期まで) _____ [報告 4 資料]

5 令和 2 事業年度中間決算について _____ 【一部席上配付資料】 [報告 5 資料]

6 筑波大学附属病院 令和 2 年度経営状況について _____ [報告 6 資料]

7 開発研究センターの評価結果について _____ [報告 7 資料]

8 その他

IV 議 事

〔審 議〕

1 審議 1 資料に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

〔報 告〕

1 報告 1 資料に基づき、報告があった。

2 報告 2 資料に基づき、報告があった。

なお、構成員からの要望により、レーダチャートといった一部のページについては、部局で使用できるよう加工したうえで提供することとなった。

3~7 報告 3 資料から同 7 資料に基づき、それぞれ報告があった。

8 永田学長から、令和 3 年度の運営費交付金について情報提供があった。

また、構成員から、現在の対面授業の実施状況及び学生の就職率について質問があり、清水理事から、対面授業の実施率は 3 割 4 分程度であり、来年度に向けて新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみながら、教室定員の基準を見直す等、対面授業増加に向けて検討中である旨回答があった。また、佐藤副学長から、就職率は 7 割程度であるとの回答があった。

最後に、金保理事から、教育研究評議会構成員を対象に実施したコロナ禍で困窮している学生に対する支援に係る意見照会結果について報告があり、引き続き本部・部局それぞれが学生の状況の把握に努め、実施可能な支援については、迅速に対応するよう依頼があった。なお、要望が多かった食料提供については年明け早々に実施できるよう、準備を進めている旨報告があった。

以上